

7 月度 例会 個人 山行報告書		報告 吉川浩行	参加 メンバー	CL:吉川浩行、SL:山田 明 天野広、上田伸江、藤田健 治、吉川憲吾 Csaba Darvas(DMHU) Roland Horvath(同)
		報告 08 / 07		
山 域		山行日	07 年 07 月 28 日 (土) ~ 07 年 07 月 29 日 (日)	
山 名	富士山			

山行目	高度トレーニング	コースタイム (天候 : 天気図記号)		
配布先	ルート図 (地図を見て正確に)	07/28 晴時々曇り	【吉川親子】	
集会:12		13:00 本社前発	23:30 C 隊と分離	
山行:1 リ-ダ-		17:30 五合目 P 着 夕食	25:35 9 合目着	
原紙:集 会担当者		19:00 5 合目発	3:25 9 合目発	
		20:00 一本	4:25 8 合目着	
		20:35 新 7 合 (一本)	5:50 7 合目発	
		21:20 一本	8:00 5 合目着	
		21:50 元祖 7 合 (一本)		
		23:00 8 合目 (一本)		
		07/29 曇り	5 合目で合流後	
		24:30 9 合目 (一本)	11:05 5 合目発	
		26:30 頂上着	11:30 富嶽温泉着	
		4:45 頂上発	16:10 温泉発	
		6:00 9 合 5 勺	19:00 本社前着	
		6:30 9 合目		
		6:30 9 合目		
		7:10 8 合目		
		9:30 5 合目着		

山行報告	
<p>晴天に誘われ意気揚々と富士に向け刈谷を出発。DMHU から参加の二人も当初お客様状態だが、何とか溶け込もうとしている。5 合目 P では身支度、夕食を済ませ大勢の登山客に紛れ、19 時より登山を開始する。(昨年の同計画より仮眠なく、3.5 H 早目の出発) 当 C 隊は初富士山組 4 名に小 4 (憲吾) を加えた混成パーティである。DMHU からのお二人は S L 山田さんの発破に応えるごとく、遅れもせずについてゆく。スタート時間が早かったせいもあり、藤田さんの膝具合も考慮に入れ、いつもより短い間隔での休憩を挟み頂上を目指す。途中、暗闇が迫りヘッドランプが必要となる時間になるも、月明かりが足元を照らし、十分歩ける位の明るさだったのは助かったが、空気の薄さは相変わらずである。順調に歩みを進めるが次第に気圧の薄さが降りかかり、8 合目手前で三矢さんにも。8 合目で藤田 B に後を預け、先を進めることにしたが 8.5 合目辺りから憲吾の体調が思わしくなく、C 隊から分かれて歩く事にする。(補給する水分量が少ないため、頭痛や吐き気を催した模様) その後、昨年のハッパ片手によろやく 9 合目まで登らせるも眠気や気圧の影響、寒さを考慮し引き返す事を決断した。(吉川)</p> <p>8.5 合目から吉川さん親子と別れ、C パーティは 5 人の行動となった。9 合目辺りから、他の登山者はほとんどいなくなり、ガスがさらに濃くなり視界が悪くなったため、寂しい景色の中をお互いに声を掛けながら進む。</p> <p>DMHU の二人は思ったよりも強く、一番声を出していた (歌を歌ったり、喋ったりしていた)。9.5 合目過ぎの急登を過ぎた所で渡辺さん、町田さんと合流し、よろやく頂上に到着した。DMHU の二人は Finished ! と叫んで喜び、メンバー同士で喜びを分かち合った。頂上でしばしの仮眠を取った後、夜明けと共に下山を開始し、途中、体調を崩したり、足を痛めるメンバーも無く、無事に 5 合目の登山口に到着出来た。(山田)</p>	
確認 (リ-ダ-)	リーダー所見
吉 07/08/07 川	【山田】体力、技術力が未知数のメンバーが多いパーティでしたが、全員無事に下山出来て良かったです。また、DMHU の二人と交流が出来て良かったです。英会話が意外と通じて嬉しかったです。
作成 (報告者)	【吉川】仮眠なしの厳しさを感じながらの山行でしたが、今回は高度トレーニング という期待した効果が十分得られ大変良かったと思います。
吉 07/08/07 川	 <p>山の無いお国の方々とは思えないタフさでした。</p>